

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護援助論Ⅱ（精神保健論） Nursing Care of Psychiatric and Mental Health Nursing Ⅱ			担当 教員	安藤幸子（専任） 植本雅治（専任） 山岡由実（専任）	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	ゼミ	
選択必修	必須	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>ストレス・コーピング、危機理論、ストレスマネジメントなど精神保健に関連する理論および精神保健上の問題の発生に至る背景、予防、対応について学ぶ。また疾病や入院に起因するストレス、災害時のストレスの影響とその対応について、事例の分析を通して検討し、精神保健活動における専門看護師の役割と必要な能力について検討する。</p>						
授業のキーワード		<p>ストレス・コーピング、危機、心身相関、ストレスマネジメント</p>						
講義回数	授業内容及び計画							
第1回	精神保健の概念およびストレス概念の理解							
第2回	ストレス・コーピング理論および防衛機制の理解と看護実践への適用							
第3回	危機理論の理解と看護実践への適用							
第4回	グリーフワークの理解と看護実践への適用							
第5回	ストレスと心身相関、ストレスと健康障害との関連の理解							
第6回	個人におけるストレスマネジメント（個人のセルフケア）の方法と、セルフケアを高める支援方法							
第7回	職場におけるストレスと健康障害、職場のストレスマネジメントの方法を学び、専門看護師の役割について検討する。							
第8回	看護現場および看護職の精神保健上の問題とその背景要因							
第9回	看護職の精神保健上の諸問題と看護職へのメンタルヘルス支援の方法							
第10回	ICUや急性期病棟における精神保健上の問題とケア（事例の分析）							
第11回	慢性期病棟における精神保健上の問題とケア（事例の分析）							
第12回	ターミナルケアをめぐる精神保健上の問題とケア（事例の分析）							
第13回	入院患者の家族の精神保健上の問題とケア（事例の分析）							
第14回	心的トラウマの理解とケア（特に災害と心のケアに焦点を当てる）および惨事ストレスと支援者のケアを学び専門看護師の役割を検討する。							
第15回	精神保健上の問題とそのケアにおける専門看護師の役割と必要な能力の検討							
テキスト	なし							
参考文献	授業中に提示します							
成績評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション（80%）、課題レポート（20%）							
教員から学生へのメッセージ	<p>ストレスに関連する理論、精神保健上の問題とその援助について、各自が文献を通してまとめると共に、実際に体験した事例の検討も行います。授業はプレゼンテーションとディスカッションを中心に進めていきます。</p>							